



伊東市出前授業・フィールドワーク

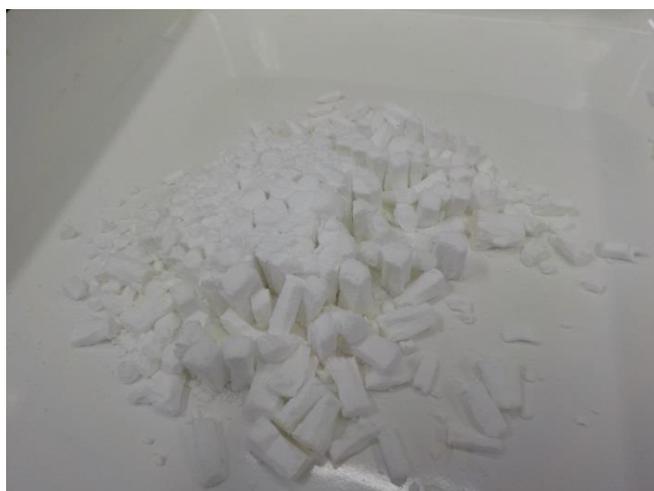
今年度の伊東市におけるジオパーク学習(事前授業及びフィールドワーク)が、伊東市立南小学校を皮切りにスタートしました。伊東市内の全小学校が取り組んでおり、総合学習及び理科の授業をとおして伊東市の成り立ちや大地のヒミツについて学んでいます。

初日となる南小学校では、スライドでの説明や火山の仕組みをコーラ噴火等の実験をとおして楽しく学習しました。今後は、城ヶ崎海岸や一碧湖での屋外観察を各校で実施します。

「片栗粉で柱状節理」を再現

伊東市立富戸小学校で行われた事前授業で、片栗粉を使った柱状節理づくりにチャレンジしました。火山噴出物でできた半島である伊豆半島では、溶岩が冷えてできた柱状節理を数多く見ることができます。身近な材料である片栗粉を使って綺麗に完成した柱状節理に「すご〜い！」などの歓声があがっていました。

また、片栗粉の特性を見るためにダイラタンシー現象などを持ちて説明すると、力のかかり方によって固体や液体状に変化する面白い動きに興味津々の様子でした。



地層の剥ぎ取り標本づくり

伊豆の国市内の小学校より、理科の授業で地層の話を上手に行いたいとの依頼がありました。田方平野北部は平坦地が多いため学校周辺で地層が露出している場所は多くありません。

見に行けないなら持って来ようということで、地層の剥ぎ取りを行うことになりました。学校付近のボーリング試料の観察とあわせて地上と地下の比較ができて大地の成り立ちへの理解が進んでくれると思います。

剥ぎ取りや授業の様子は、今後お知らせしていきます。

お知らせ・トピックス

このたび、伊豆半島ジオパーク教育通信を発行することになりました。

「こんな授業がしたい」「他の学校ではどうしてるの?」というお悩みをジオパークならではの視点でお手伝いできればと思います。

今後は、学校等での取り組み事例やジオパークで行っている教育活動について紹介をしていく予定です。是非、ご覧いただきたいと思っております。